

19. 第一次世界大戦と民族独立の動き

ヨーロッパ諸国

ドイツ・オーストリア・イタリアの① 三国同盟 と、イギリス・フランス・ロシアの

② 三国協商 の2つの陣営が対立

・③ バルカン 半島→ヨーロッパの火薬庫

様々な民族が混在

かつ植民地争いで国境を

対立 1914年戦争に突入

サラエボ事件

・1914年、サラエボで④ オーストリア の皇太子夫妻をセルビアの青年が暗殺→開戦へ

・⑤ 第一次世界大戦 …飛行機・戦車・潜水艦・毒ガスなどの新兵器が用いられ、国力のすべてを戦争につぎ込む→⑥ 総力戦 となる

同盟国側

⑦ ドイツ

・④・トルコ

オーストリア

×

日本の植民地を拡大するため

連合国側

セルビア・イギリス・フランス・ロシア

・日本は⑧ 日英 同盟を名目として連合国側→中国政府に対し、

⑨ 二十一か条の要求 を提出

= 袁世凱

・日本の⑩ 大戦景気 …重化学工業が成長し、日本経済は好景気→利益を上げた大企業は

ヨーロッパに参入する

⑪ 財閥

へと成長

成金も

・⑫ ロシア 革命…1917年、⑬ レーニン がソビエト政府を樹立

→⑭ 社会 主義を掲げると宣言

革命の広がりをおそれる(米・英・仏・日)

連合国側が共同で軍隊を派遣、日本も出兵=⑮ シベリア出兵

1917

1918

米騒動 富農の主婦が米の安売りを求め暴動に

・1922年、⑯ ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連) を結成

講和会議

…1919年、パリで開かれる(パリ講和会議)

・⑰ ベルサイユ 条約…⑦はすべての植民地と領土の一部を失う、軍備縮小と巨額の賠償金

賠償金

・⑱ 国際連盟 発足…本部はジュネーブ、日本は常任理事国となる。新渡戸稲造が事務次長として活躍

米 ウルソン大統領の提案

+ 1919年 ワイマール憲法(ドイツ)

+ 1921~22 ワシントン会議

アジアの民族運動

…民族自決(主権の民族は自らの運命を自らの手で決めるべき)

・朝鮮：1919年、⑲ 三・一独立 運動…朝鮮全土に広がった独立運動

・中国：1919年、⑳ 五・四 運動…北京の学生による反日運動→帝国主義に反対する運動に発展

パリ講和会議

二十一か条の要求

・インド：㉑ ガンディー らによる完全な自治を求め、「非暴力・㉒ 不服従」をかけた独立運動

= イギリスからの独立